

門司区の主な取組み

第1章 自然や歴史を活かし、人とモノが交流するにぎわいのあるまち

■ 門司港レトロ事業

SDGs ゴール番号 8

<令和6年度門司港レトロ主要事業について>

1 カモン関門！ぐるっと満喫事業

関門海峡を中心とする関門地域を一つのエリアとして捉え、関門周遊切符に飲食店等をセットにした商品造成を行うとともに、関門エリアに誘客するため、下関市との関門連携による国内外でのセールス活動などを実施します。

2 門司港の地元消費アップ！促進事業

門司港において、観光客を対象とした、地元飲食店やホテル事業者等と連携したクーポンの造成や修学旅行の誘致件数増加に向けてのインセンティブ創設などの新たな取り組みにより、門司港の地元消費アップを促進します。

3 ゆるたび門司港のススメ～歴史・文化・自然～事業

門司港の魅力的な歴史・文化・自然を活かし、観光客がゆっくり時間をかけて楽しめるような観光コンテンツの造成に取り組みます。

4 門司港レトロ地区回遊性向上事業

門司港レトロ地区の滞在時間の延長や観光消費額の増加を目的として、観光案内版のリニューアルや観光列車沿線沿いの植栽化など、観光スポットを繋ぎ回遊性の向上に取り組みます。

5 福岡・大分デスティネーションキャンペーン事業

全国のJRグループと地元自治体等が共同で実施する国内最大級の観光誘致キャンペーンの開催地として、令和6年4月～6月の間、地元の交通事業者等と連携してプロモーションに取り組み、全国へ魅力を発信します。

【指定管理者】

- ① 門司港レトロ観光9施設…門司港共創プロジェクトチーム共同事業体
関門海峡ミュージアム、旧大阪商船、旧門司三井倶楽部、門司港レトロ観光物産館、門司港レトロ展望室、門司港レトロ駐車場、大連友好記念館、旧門司税関、旧大連航路上屋

【指定期間】 令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

- ② 九州鉄道記念館…九州鉄道記念館運営共同企業体

【指定期間】 令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）

担当：都市ブランド創造局門司港レトロ課 TEL 322-1188

■ 門司港レトロイルミネーション

SDGs ゴール番号 8

門司港では冬のにぎわいづくりとして令和6年度は10月～3月までイルミネーションの点灯を行う予定です。平成6年度から開催し、令和6年度は30回目を迎えます。

担当：都市ブランド創造局門司港レトロ課 TEL 322-1188

■各種イベント支援

SDGs ゴール番号 8.17

まちづくり団体等が門司区でイベントや事業などを実施する際に、各種支援を行っています。

<門司海峡フェスタ（旧「門司港レトロフェスタ」）>

門司港レトロ地区で行われるゴールデンウィーク期間の目玉イベントです。バンド演奏やよさこい踊りなどのステージイベント、ご当地グルメ屋台や門司ゆかりの源平合戦などの史実に合わせた甲冑武者行列、花火など、子どもから大人まで楽しめるさまざまな催し物が目白押しです。

※ 令和6年度は5月3日（金・祝）、4日（土）に開催

<門司みなと祭>

門司港が、国際港としての地位を確立したのを契機に、昭和9年に当時の門司商工会議所会頭の出光佐三氏の音頭により始まったお祭りです。令和6年度で79回目を迎えました。門司みなとアンバサダーをはじめ約1,100人が趣向を凝らし、街中を行進する祝賀パレードが見どころです。毎年、5月に開催しています。

※ 令和6年度は5月25日（土）、26日（日）に開催

<関門海峡花火大会>

関門海峡を挟んで、門司と下関両方で同日・同時間に打ち上げる花火大会です。海峡の夜を華やかに彩る大輪の花は、関門の夏の風物詩として広く知られています。

令和6年度では8月13日（火）に開催予定

<維新・海峡ウォーク>

高杉晋作没後120年を記念して昭和60年から下関の地元主催として始まり、東行庵をスタートしてシーモールまでの約30km、門司港駅までの約28kmのコースがあります。毎年約1万人もの参加者を集めています。（コロナ禍以前は、2万人規模）

※ 令和6年度は4月7日（日）に開催

<関門よさこい大会>

「ロケーション日本一のよさこい大会」を合言葉に、関門海峡を挟んで門司港と下関市でよさこい踊りを披露します。約50チームが参加し、下関会場も合わせて4会場で盛大に華やかに開催されます。

※ 令和6年度は8月下旬に開催予定



担当：門司区役所総務企画課企画係にぎわい担当 TEL 331-2252

■大里赤煉瓦タウン活性化事業

SDGs ゴール番号 8.10.11.14.15.17

門司駅北口周辺地域は、平成12年以降、土地区画整理事業として、商業アミューズメントや住宅、ウォーターフロントなどの施設整備が進められてきました。この地域のコミュニティの形成及び門司駅を挟んだ南北の地域の連携を促すため、門司赤煉瓦プレイス運営協議会と門司区役所が主体となって、「食」にこだわったイベント「大里赤煉瓦食市」を開催しています。

担当：門司区役所総務企画課企画係 TEL 331-2252

■ 門司区マスコットキャラクター（じーも）活用事業

門司区のキャラクター「じーも」を活用して、にぎわいの創出・門司の PR を図ります。

子どもたちに親しんでもらえるようグッズを製作・配布するほか、区内外の民間事業者などを対象に「じーも」商標を活用した製品開発・サービス展開を促進します。



じーもシール

SDGs ゴール番号 11.17



じーもクッキー

担当：門司区役所総務企画課企画係 TEL 331-2252

■ 関門景観の魅力発信

関門景観条例制定 20 周年（令和 3 年度）を契機に、創出した「関門シネマティックシティ」の様々なコンテンツ（まち歩きマップ、Vlog 動画、特設サイトなど）を活用し、関門地域の魅力ある景観資源を発掘・発信しています。今年度も、関門地域のイベントなどと連携し、関門景観の PR 活動を行います。

担当：都市戦略局都市再生企画課景観形成係 TEL 582-2502

SDGs ゴール番号 11



■ 定住・移住促進事業

定住・移住の促進を図るため、本市の魅力発信、移住相談対応の充実、本市に移住してもらうための受入れ体制の強化などの取組みを実施します。

担当：都市戦略局住まい支援室 TEL582-2288

SDGs ゴール番号 3.8.11.17

■ 住むなら北九州 定住・移住推進の取組み

本市への定住・移住を推進するため、市外から移住する若者・子育て世帯等に対し、一定の要件を満たす街なかの住宅を取得又は賃借する費用の一部を補助します。

担当：都市戦略局住まい支援室 TEL582-2288

SDGs ゴール番号 11

■ 門司を美しくする会

「門司を美しくする会」は、平成 17 年 1 月に門司区内で活動するまちづくりボランティア団体やボランティアサークルなどで発足しました。令和 6 年 3 月時点で 46 団体（門司港地区 26 団体、大里地区 20 団体）が参加しています。

毎月、門司港地区・大里地区それぞれで、当番団体がごみ拾いなどの清掃活動を行い、「まちもところも磨く」掃除によるまちづくり活動が広がっています。

令和 5 年は活動を延べ 30 回実施し、630 名の会員の方々が参加しました。

SDGs ゴール番号 11.17



担当：門司区役所総務企画課企画係にぎわい担当 TEL 331-2252

■海の玄関口クリーンアップ活動

SDGs ゴール番号 11.17

お盆やお正月に帰省する方をはじめ、本市を訪れる方に気持ちよく来訪していただくため、地域・民間企業・行政が一体となって、本市の「海の玄関口」である新門司フェリー地区一帯で清掃活動を実施しています。

参加団体は、新門司地区の松ヶ江北校区、松ヶ江南校区をはじめとした自治会、フェリー埠頭周辺事業者（フェリー3社、マリナクロス新門司立地企業など）、港湾空港局、環境局新門司環境センター、門司区役所で、延べ400人を超える方々が参加しています。

【令和5年度実施状況】

実施日	参加人数	ごみ処理量
8月2日（水）	235人	430Kg
12月13日（水）	230人	430Kg



担当：門司区役所総務企画課企画係にぎわい担当 TEL 331-2252

■“クリーン北九州”まち美化キャンペーン

SDGs ゴール番号 11.12.14.15

例年、市民のまち美化意識向上を目的に5月30日（ごみゼロの日）から環境月間である6月末日まで各区に会場を設け、一般市民も気軽に参加可能な大規模清掃活動「まち美化（ごみゼロ）清掃」を行っています。

また、ボランティア団体に清掃を呼びかけ、自主的に清掃を行う「ボランティア団体清掃」も行っています。



担当：環境局業務課 TEL 582-2180

■市民いっせいまち美化の日

SDGs ゴール番号 11.12.14.15

平成6年10月にまち美化条例が施行され、ごみの散乱状況も改善されてきましたが、まち美化は人のモラルに関わる問題のため、継続的にPR活動を行う必要があります。

そのため、毎年10月の第一日曜日を「市民いっせいまち美化の日」とし、この日を中心とした9月から10月の間、多くの市民が地域の道路、公園、河川等の清掃を自主的にを行っています。

担当：環境局業務課 TEL 582-2180

■みなとのにぎわい推進事業

SDGs ゴール番号 11.14

みなとのにぎわいを創出することを目的として、企業や関係団体と連携し、海やみなとに親しみを持ってもらえるイベントを実施します。

また、門司区西海岸エリア一帯の観光施設等が「みなとオアシス門司港」の構成施設として登録されていることを受け、「みなと」を核とした地域づくりを推進します。



担当：港湾空港局クルーズ・交流課 TEL321-5939

■クルーズ船誘致・受入事業

SDGs ゴール番号 11

国内外のクルーズ船社等に誘致を働きかけ、安全安心な受入を実施するとともに、乗船客を市内へ誘導することにより、市内経済の活性化を促進します。



担当：港湾空港局クルーズ・交流課 TEL321-5939

■門司港レトロ地区臨海部開発事業

SDGs ゴール番号 8

門司区西海岸一丁目にある分譲地の活用により、門司港レトロ地区のより一層の魅力向上や同地区が抱える来訪者の滞在の長時間化等を図るため、宿泊機能を有する集客施設の整備が民間事業者によって行われています。

担当：港湾空港局計画課 TEL 321-5967

■恒見朽網線道路整備事業

SDGs ゴール番号 11

門司区には太刀浦コンテナターミナルや新門司港、小倉南区・京築地域には空港跡地産業団地、臨空産業団地、北九州空港など周防灘沿岸部に物流拠点が集積し、物流を含む交通量が増加しています。このような状況から、当該地域の幹線道路である県道門司行橋線や国道10号の慢性的な渋滞を解消し、産業拠点間の物流機能を強化することを目的として整備を進めています。

- ・箇所 門司区新門司三丁目～小倉南区大字朽網
- ・延長 L = 7.9 km (4車線)
- ・事業年度 平成22年度～令和13年度 (予定)



担当：都市整備局道路建設課 TEL 582-2279

・北九州市公共施設マネジメント実行計画について

本市では、昭和 40 年代後半から 50 年代にかけて集中的に整備された公共施設が、これから 10 数年後に一斉に更新の時期を迎えます。

また、近年の財政事情は「福祉・医療費」が年々増加し、施設整備にかかる「投資的経費」はピーク時から大幅に減少し、近年横ばい状態にあるなど、公共施設をとり巻く環境は、非常に厳しいものがあります。

一方、人口の減少や少子高齢化の進展の中で、都市の活力を維持・向上していくため、商業・医療・福祉などの都市機能を集約し、その周辺や公共交通沿線などへ住宅を誘導することにより、生活利便施設や住居がまとまって立地する「コンパクトなまちづくり」を進めていくこととしています。公共施設についても、こうした動きの中で、より使いやすく充実したものへの更新を図っていきます。

本市の公共施設マネジメントは、市民の安全・安心を確保し、子どもや孫の世代が安心して暮らせる地域社会を築いていくため、真に必要な公共施設を安全に保有し続けることができる運営体制を確立していくことを目的とします。

そして、その取組みには、単に施設を減らすだけではなく、「選択と集中」の観点から、本市のにぎわいづくりや活性化にも留意しながら、現在及び将来のニーズ等を見据えて公共施設を再構築するという視点が重要です。

これらを踏まえ、今後の公共施設マネジメントを具体化していくための道標として、平成 28 年 2 月に「公共施設マネジメント実行計画」を策定しました。

この実行計画は、「施設分野別実行計画」にて、公共施設の集約に関する考え方や具体的な取組みの進め方などを示しています。また、「モデルプロジェクトにおける公共施設再配置計画」にて、門司港地域・大里地域における施設の再配置の考え方等を示しています。

今後は、この実行計画をもとに、公共施設の再配置やリノベーション、移転・廃止後の跡地利用、街なかのにぎわいづくり等を具体的に進め、「都市の再構築と活力あるまちづくり」を目指します。

【門司港地域の再配置計画】

門司港地域に点在している老朽化した公共施設を門司港駅に隣接した交通利便性の高い場所に集約・複合化し、市民サービスの向上や効率化、地域の活性化を図ります。

【大里地域の再配置計画】

旧門司競輪場の跡地に、公共施設を集約し、複合化・多機能化することで、市民サービスの効率化及び公共施設に係るコスト縮減を図るとともに、魅力的な公園や居住空間の創出を図ります。

なお、実行計画の詳しい内容は、市のホームページに掲載しております。

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/henkaku/25801061.html>

担当：財政・変革局市政変革推進室

TEL582-2076

【門司港地域の再配置計画に関すること】

都市戦略局事業推進課

TEL582-2469